

第4章 まとめ

◆大切なのは主訴

---

西洋医学と東洋医学は、治療へのアプローチがまったく違うもので、臨床では、これら両方の目で見ることが大切です。

そして、漢方の目で見るときには、主訴を把握することが必要です。患者さんが何を訴えて、何に悩んでいるのかを聞き出します。その後、最適の薬を提案しますが、そのときは、患者さんの症状に対してどんな薬が考えられるか、そして虚証ならこちら、実証ならこちら…と、そのようなステップを踏むことが大切です。

<虚実>は大切なポイントですが、そこにあまりこだわりすぎずに、患者の主訴から治療につなげていくという点に、精力を費やすことが重要です。

---